

パソコン処理による業務運営

阿仁営林署 業務課 澁谷和秀

営林署に配布されているカルクのソフトは、「プレッセ」「マルチプラン」「ロータス123」で、私の担当業務に「マルチプラン」を利用した作業例を示し、パソコンで作業している方のご批判を仰ぎたいと思います。なお、dBASEのファイル読み替えに「ロータス」を使用しました。

次次頁以下に、作業の成果例と演算式・コード表・因子表・マクロや説明を付しており、作業内容をご理解して戴けると幸いです。

私がパソコン作業した理由は、

- (1) 大半を丸写しで定期的書き替える表は、変更の都度訂正し、必要なとき印刷出来る。
- (2) 打ち込み数値の確認で、計算が早く正確であり、誤差を考える必要がない。
- (3) 各表から因子を転記する計算表は、打ち込んだ数値により因子抽出し計算する。
- (4) 他のプログラムによるデータを活用し、業務に適した表が作成出来る。

事からだと今更ながら感じ、作業例の目的とその利点や問題点等を次頁のとおり纏めてみました。

比較のためと、定着したパソコン作業を手作業するのは「何か変だ」と思え、パソコン作業と手書き作業との比較・経済性や業務の実態とかは分析しておりません。又、私より知り尽くしていると存じます。

私は、パソコンを活用すると「二度手間を掛けない」「一度打ち込んだデータは何時でも利用できる」そして「データの共有化が図れる」事だと思います。

「データの共有」とは「手間を省く」事だと思います。その業務担当者の手間を省くだけでなく、署・局・林野全体に配慮する必要があるのではないのでしょうか。

例えば、ここに示した貸付地一覧表の類を他の署ではどの様に作成しているのか、多分手書きか新たにカルク・ワープロで作業しているのではないかと思います。局プログラムdBASE貸付台帳は局の実務を考慮して作成されたと思いますが、署の実務で必要な表が作成出来たらと感じています。

また、色々な通達・規程があり、それに書式・様式が定められております。ワープロで作成し設定していると思いますから、通達文と共に媒体を配布されたら如何でしょうか。

この様な、拙手なパソコン作業の報告と拙い意見を述べる機会を与えられたことに感謝し、皆様のパソコン作業例の発表を望む者です。

作業目的と利点問題点等

帳票名又は作業	目的	利点と欠点	発展性 問題点等
職員名簿作成	厚生業務での職員の連絡先等の一覧表作成	作表時に、即座に年齢計算が出来る。 作表は、手書と異なり浄書照合が不用。 個人情報安易に外部流出し易い。	列に、色々なデータを入力でき、色々なコード表やマクロのファイルを作成し、作表できる。
跡地検査調べ	跡地検査の進行管理	手書と異なり書替浄書照合が不用。 行挿入のため書式複写を要し入力に手間取る。	継続的に入力し、当務者はパソコン操作者が望ましい。 常に現状把握し管理に活用できる。
貸付料計算	貸付使用料金計算	8 ッか9 ッの入力数値の確認で良く、正確で信頼性があり、初心者一人作業が可能。	安易にパソコンに頼り業務の研鑽意欲を削がないように、指導する必要がある。
貸付地一覧表	d B A S E の貸付台帳データから一覧表の作成	マルチプランの作業でファイルの読み換えが必要。 作表に手間取るが、マクロである程度軽減される。	この作表方法を、他の作表作業に活用できる。
分収育林地探し	d B A S E の森林調査簿データから分収育林地適地の絞り込み抽出	マルチプランの作業でファイルの読み換えが必要。 フィールドの内容と絞り込みの要因を理解する必要がある。	森林調査簿データの活用例として発表した。 レコード数により作動しない事が考えられる。 貴重なデータであり、署で活用できる方法の開発が望まれる。
プログラムのデータ複写 欄外に 例	共通因子を使用する異なるプログラムでの改訂因子の複写	二度手間が掛からない。 何時もデータ提供と個人的な思考に陥り易い。	他の業務を研鑽し、お互いにプログラムを公開する必要がある。 データ配布は改訂側と確立する必要がある。

例) 立木評定 B・C 経費プログラムの「現場諸経費」データを立木補償計算プログラムに複写

表の概要 (紙数制限により表は3・4枚目のみ)

職員名簿作成

年齢計算に誤りのある 職員名簿 の 演算式
(メモリーの関係で誤りを承知で使用しました。)

上の表の 演算式を 修正した 職員名簿

跡地検査調べ

表 の 作成見本

貸付料計算

年期貸付使用の更新時
貸付使用料計算書
新規貸付使用料計算書は省略

計算書に
入っている
演算式

貸付料計算 諸表

貸付使用料計算に必要な因子
LOOP関数
INDEX関数 の テーブル

貸付地一覧表

局dBASEプログラム貸付台帳による
貸付台帳一覧表

署で マルチプランで作成した 貸付一覧表
局dBASEプログラム貸付台帳のデータを活用

局dBASEプログラム貸付台帳の
データベースの構造

貸付地一覧表 表作成

前頁 中段の 表を 作成する
[タイ_コード・MP4]ファイル の 中身

分収育林地探し

局が 森林調査データで作成した
分収育林地候補地一覧 の 一部

森林調査簿データを
マルチプランに
読み替えて
候補地絞り込みした
表の一部

貸付料計算

12 13 14 15 16 18 19 20 21 22 23
 1 1枚目 貸付使用料計算書 08年 1月 16日 作成 2

3 年期貸付更新用で、横に8枚並んでおります。

契約者 あいうえお				評定者	印	検算者	印
所在地	秋田県北秋田郡	阿仁町大字	あいう	面積	(1)ha 30.5000	基準地 No	4
	あいう	国有林	83林班 あ 小班	用途	あいうえお	基準地 価格	(2) 90,000

○ 品位修正率

区分	評価地			基準地			(A)-(B)	修正率
	中央部	搬出点	(A)	中央部	搬出点	(B)		
標高	m 510	m 230	m 280	m 370	m 220	m 150	m 130	0.90
幹線距離			Km 2.6			Km 6.7	Km -4.1	0.02
支線距離			Km 0.0			Km 0.0	Km 0.0	0.00
							決定(3) 修正率	0.92

貸付使用料率	% 6.0
--------	----------

○ 時点修正率

(8年 4月) 67,173 (4)
 (8年 1月) 67,446 = 0.99595 ∴ 0.996

○ 修正価格

(2) 90,000 × (3) 0.92 × (4) 0.996 = 82,469 円
 (5) 82,500 × (6) 10 = 825,000 円

○ 貸付(使用)料

(6) 825,000 × 料率 (7)haあたり1ヶ年料金
 (7) 49,500 × (1) 0.06 = 49,500 円
 (8) 1,509,750 × 調整率 (8) 30.5000 = 1,509,750 円
 1,509,750 × 1.09 = 1,645,628 円

入力事項	
面積	[R6C20]
林班	[R8C16]
評価地の 標高と距離	[R14C14] [R14C15] [R16C16] [R18C16]
貸付使用料率	[R21C18]
前期刊金	[R42C15]

◇ 前期刊金 1,630,200 円 ◇ 調整・端数処理 1,609,800 円

(9) 年額決定額 1,630,200 円

○ 違約金計算

825,000 × 30.5000 × 0.1 = 2,516,250 円
 825,000 × 30.5000 × 0.3 = 7,548,750 円

【 演算式 】

基準地No [R6C22]
 LOOKUP(R[+2]C[-6],R61C29:R72C30) ◇調整・端数処理 [R42C20]
 IF(R[-2]C-R[-4]C>100000,
 ROUNDUP(R[-4]C+100000,-2),
 ROUNDUP(R[-2]C<LOOKUP(R[-4]C,R61C13:R68C15),
 LOOKUP(R[-2]C,R61C13:R68C15),
 ROUNDUP(R[-2]C,-2)
))
 基準地価格 [R8C22]
 LOOKUP(R[-2]C,R61C32:R70C33)
 時点修正率の年数 [R24C13]
 YEAR(NOW())-1988
 時点修正率の指数 [R24C15]
 INDEX(R61C17:R72C24,RC[-1],RC[-2]) (9) 年額決定額 [R44C20]
 IF(R[-2]C[-5]>R[-2]C,
 R[-2]C[-5],
 R[-2]C)
 (5)10aあたり [R30C20]
 IF(R[-1]C>100000,
 ROUND(R[-1]C,-3),
 ROUND(R[-1]C,-2)
)
 調整率 [R40C16]
 LOOKUP(RC[-2],R61C13:R68C14) ○ 違約金計算 [R46C20]
 IF(RC[-6]*RC[-4]*0.1>1000,
 RC[-6]*RC[-4]*0.1,
 1000)

貸付料計算 諸表

56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96

山林の比準表		5	6	10	11
標高	比準割	幹線道路		支線道路	
		距離差	補正係	距離差	補正係
849	5.00	-40.00	0.18	-10.00	0.18
799	4.00	-36.00	0.16	-9.00	0.16
749	3.33	-32.00	0.14	-8.00	0.14
699	2.86	-28.00	0.12	-7.00	0.12
649	2.50	-24.00	0.10	-6.00	0.10
599	2.22	-20.00	0.08	-5.00	0.08
549	2.00	-16.00	0.06	-4.00	0.06
499	1.82	-12.00	0.04	-3.00	0.04
449	1.67	-8.00	0.02	-2.00	0.02
399	1.54	-4.00	0.00	-1.00	0.00
349	1.43	0.00	0.00	0.00	0.00
299	1.33	4.01	-0.02	1.01	-0.02
249	1.25	8.01	-0.04	2.01	-0.04
199	1.18	12.01	-0.06	3.01	-0.06
149	1.11	16.01	-0.08	4.01	-0.08
99	1.05	20.01	-0.10	5.01	-0.10
0	1.00	24.01	-0.12	6.01	-0.12
50	0.95	28.01	-0.14	7.01	-0.14
100	0.90	32.01	-0.16	8.01	-0.16
150	0.85	36.01	-0.18	9.01	-0.18
200	0.80	40.01		10.01	
250	0.75				
300	0.70				
350	0.65				
400	0.60				
450	0.55				
500	0.50				
550	0.45				
600	0.40				
650	0.35				
700	0.30				
750	0.25				
800	0.20				

貸付料調整率表

調整前の調整率

0	2.77	3000
3001	1.86	8400
10001	1.45	18600
20001	1.28	29000
35001	1.17	44800
70001	1.11	81900
140001	1.09	154000

森林価格推移指数表

1	72199	71391	69748	68536	67446	66356
2	72100	71330	69596	68445	67355	66265
3	72000	71269	69444	68354	67264	66174
4	71939	71117	69353	68263	67173	
5	71878	70965	69262	68172	67082	
6	71817	70813	69172	68082	66992	
7	71756	70661	69081	67991	66901	
8	71695	70509	68990	67900	66810	
9	71635	70357	68899	67809	66719	
10	71574	70204	68808	67718	66628	
11	71513	70052	68717	67627	66537	
12	71452	69900	68627	67537	66447	

林班に対応する基準地表基準地の表

林班	基準地	NO	価格	中央	高	搬出	幹線距離	支線距離
1	5	1	80000	320	250	10.5	0	0
12	16	2	60000	410	360	7.8	0	0
27	28	3	70000	220	190	5.4	0	0
50	50	4	90000	370	220	6.7	0	0
10273	10273	5						
10274	10274	6						
10275	10275	7						
		8						
		9						
		10						

打ち込み例

林班	1	5	12	16	27	28	50	10273	10274	10275
基準地	2	1	2	4	3	5	3	4	5	

適用基準地番号

林班	1~4	5~11	12~15	16~26	27	28~49	50~60
基準地	2	1	2	4	3	5	5

基準地に対応する適用林班の若い林班を林班の昇順に並べる。林班の複数の基準地がある場合は、1つの小班に複数の基準地がある場合、例(27林班)の様に下下さい。